

- 昭和 7年 10月 ● 杉並区誕生（人口146,560人、31,583世帯）
- 魚井重太郎区長就任
- 11月 ● 第1回区会議員選挙
- 昭和 8年 2月 ● 防護団創設（防空のための住民組織）
- 8月 ● 井の頭線開通（渋谷～井の頭公園間）
- 区内全域に町内会結成
- 昭和 9年 6月 ● 増田穆区長就任
- 昭和10年 4月 ● 杉並区公報（現・広報すぎなみ）創刊
- 昭和11年 10月 ● 塚山遺跡（下高井戸）で区内初の竪穴住居跡発掘
- 11月 ● し尿くみ取り新市域に拡大
- 昭和12年 4月 ● 水道道路（井ノ頭通り）開通
- 11月 ● 杉並保健相談所（現・杉並保健所）開設
- 昭和13年 5月 ● 広田傳蔵区長就任
- 昭和14年 6月 ● 田中直次区長就任
- 9月 ● 区役所庁舎完成（木造モルタル2階建）
- 昭和15年 12月 ● 縄文時代早期前半の標式土器「井草式土器」発掘
- 昭和16年 4月 ● 小学校26校が国民学校と改称
- 昭和17年 9月 ● 戦時下体制強化として親切課、戦時生活課、防衛課などを設置



昭和7年 杉並区誕生



昭和12年 青梅街道



昭和14年 区役所庁舎

- 昭和23年 5月 ● 高木敏雄区長就任
- 昭和24年 5月 ● 第1回杉並子ども区議会開催
- 昭和25年 3月 ● 今井政吉氏が済美学園を杉並区に寄贈
- 7月 ● 杉並児童相談所開設
- 9月 ● 小学校でパン給食完全実施
- 10月 ● 杉並図書館が都から区へ移管
- 昭和26年 3月 ● 済美教育研究所開設
- 4月 ● 区議会議員選挙 ※初の女性議員誕生
- 10月 ● 杉並区商店会連合会発足
- 杉並福祉事務所開設
- 昭和27年 9月 ● 区長公選制廃止
- 杉並区紋章制定（10月使用開始）
- 11月 ● 区教育委員会設置
- 昭和28年 11月 ● 公民館開館（杉並図書館併設）
- 昭和29年 5月 ● 水爆禁止署名運動杉並協議会発足
- 8月 ● 第1回阿佐谷七夕まつり
- 昭和30年 3月 ● 松ノ木運動場開設、松ノ木復元住居竣工
- 8月 ● 蚊とハエをなくす区民運動開始



昭和27年 杉並図書館



昭和28年 区役所屋上より

すぎなみの歴史

昭和7年杉並区誕生～昭和37年 昭和

- 昭和18年 2月 ● 区民に鉄・銅の供出を呼び掛け
- 7月 ● 都制が施行され「東京都杉並区」に
- 山根幸八区長就任
- 昭和19年 8月 ● 学童集団疎開、長野・宮城県へ
- 11月 ● 杉並初の空襲
- 12月 ● 高井戸第四国民学校が空襲で全焼
- 昭和20年 5月 ● 杉並全域に最大の空襲
- 8月 ● 太平洋戦争終戦
- 10月 ● 集団疎開学童の帰京始まる
- 12月 ● 高橋寛区長就任
- 昭和21年 2月 ● 杉並保育園開園
- 9月 ● 第一次地方制度改革（区長公選制、区税の賦課、公債発行など）
- 10月 ● 杉並図書館開設
- 12月 ● 小学校の学校給食開始
- 昭和22年 4月 ● 新居格区長就任（初の公選区長誕生）
- 5月 ● 杉並区など22区が特別区となる
- 区立中学校（20校）開校
- 6月 ● これまでの町会制度を廃止、17出張所を新設



昭和16年 隣組大会



昭和20年 神田川

- 昭和31年 6月 ● 区長選任制移行で高木敏雄区長就任
- 8月 ● 区民ハエ取りコンクール開催
- 10月 ● 開都500年記念杉並商業まつり開催
- 昭和32年 2月 ● 第1回区民の声を聞く会開催
- 7月 ● 杉並公会堂開設
- 8月 ● 第1回高円寺ばか踊り（現・東京高円寺阿波おどり）開催
- 12月 ● 加藤豊三区長就任
- 昭和34年 4月 ● 奨学資金貸付制度開始
- 6月 ● タイプライターで戸籍作成開始
- 11月 ● 杉並区町会連合会発足
- 昭和35年 8月 ● 杉並児童学園（現・すぎのき生活園）開設
- 昭和36年 6月 ● 都立善福寺公園開園
- 昭和37年 2月 ● 区長公選制実現杉並区民協議会発足
- 5月 ● 区民寮すぎなみ荘開設
- 菊地喜一郎区長就任
- 8月 ● 三宅島大噴火で富津学園に避難児童受け入れ



昭和33年 天沼陸橋



昭和34年 出初式（区役所前）

- 昭和38年 4月 ● 妙正寺公園開園
- 7月 ● 区役所新庁舎完成
- 9月 ● 住居表示開始 (昭和44年11月完了)
- 昭和39年 7月 ● 学童保育開始
- 富士学園開園
- 8月 ● 都立善福寺川緑地、都立和田堀公園開園
- 善福寺川、神田上水、桃園川、妙正寺川の改修工事開始
- 昭和40年 3月 ● 交通安全杉並区宣言
- 4月 ● 地方自治法改正による大幅な事務移管で部制施行
- 福祉事務所 (現・杉並福祉事務所) が区に移管
- 8月 ● 産業館 (現・産業商工会館) 開館
- 昭和41年 4月 ● 児童館事業開始
- 11月 ● 都が高井戸に杉並清掃工場建設を発表
- 昭和42年 4月 ● 高井戸保健所 (現・高井戸保健センター) 開設
- 11月 ● 住民基本台帳制度開始
- 12月 ● 杉並会館開館
- 昭和43年 8月 ● 都が杉並清掃工場建設予定地の土地収用手続き開始
- 12月 ● 松ノ木古代住居趾修復
- 昭和44年 4月 ● 科学教育センター (後の科学館。現在は廃止) 開設
- 7月 ● 杉並商店街振興組合発足



富士学園



昭和43年 清掃工場設置反対運動

- 昭和51年 8月 ● 総合震災訓練開始
- 12月 ● 戸籍謄抄本の閲覧禁止
- 昭和52年 4月 ● 移動図書館「たびびとくん」運行開始
- 12月 ● 基本構想策定「緑の豊かな福祉文化都市」
- 昭和54年 1月 ● 個人情報保護対策審議会設置
- 3月 ● 荻窪地域区民センター開設
- 4月 ● 済美養護学校開校
- 10月 ● 上井草総合運動場が区に移管
- 11月 ● 杉並清掃工場本体工事着工
- 昭和55年 4月 ● 弓ヶ浜学園開園
- 昭和56年 1月 ● 防災行政無線設置
- 3月 ● 中杉通り開通式
- 4月 ● 住民記録システム稼働
- 10月 ● 大田黒公園開園
- 昭和57年 4月 ● 障害者福祉会館・南福祉事務所 (現・杉並福祉事務所 高井戸事務所) 開設
- 9月 ● 杉並区歌、杉並音頭制定
- 10月 ● 中央図書館開館



昭和53年 移動図書館「たびびとくん」



昭和56年 中杉通り開通

SHOWA 昭和

昭和38年～昭和63年

- 昭和45年 4月 ● 初の区立幼稚園開園
- 6月 ● 区政モニター制度発足
- 7月 ● 初の光化学スモッグが区内で発生
- 昭和46年 5月 ● 自動車排気ガス実態調査開始
- 荻窪駅北口再開発計画案策定
- 8月 ● 粗大ごみ収集開始
- 昭和47年 4月 ● 杉並児童交通公園開園
- 10月 ● 消費者センター開設
- 12月 ● 杉並区のごみ搬入を江東区が阻止 (第1回)
- 昭和48年 5月 ● 杉並区のごみ搬入を江東区が阻止 (第2回)
- 都が杉並清掃工場建設予定地を高井戸に再決定
- 6月 ● 妙法寺鉄門が重要文化財に指定
- 10月 ● みどりの条例制定
- 昭和49年 9月 ● 南伊豆養護学園 (後の南伊豆健康学園。現在は廃止) 開園
- 11月 ● 杉並清掃工場建設に関する和解成立
- 昭和50年 4月 ● 区長の公選制が復活、保健所が区に移管
- 5月 ● 中央高速高井戸ランプ問題で五者協議会発足
- 6月 ● 高井戸遺跡発掘
- 7月 ● 杉並清掃工場計画建設協議会発足



昭和44年 科学教育センター開設



昭和46年 本庁舎拡張工事竣工

- 昭和58年 1月 ● 杉並清掃工場の本格操業開始
- 4月 ● 高井戸地域区民センター、老人福祉センター (現・高齢者活動支援センター)、高井戸温水プール開設
- 松田良吉区長就任
- 10月 ● 不燃化促進助成制度開始
- 昭和59年 4月 ● デイホームすぎなみ事業開始
- 9月 ● 自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例制定
- 12月 ● 勤労福祉会館・西荻地域区民センター開設
- 昭和60年 3月 ● 気象研究所跡地に馬橋公園開園
- 昭和61年 4月 ● いじめ電話相談開設
- 8月 ● 蚕糸試験場跡地に蚕糸の森公園開園
- 昭和62年 1月 ● 環状七号線沿道整備計画事業開始
- 3月 ● エイズ相談窓口開設
- 6月 ● 情報公開・個人情報保護制度開始
- 10月 ● 出張所オンラインシステム稼働
- 昭和63年 3月 ● 杉並区平和都市宣言
- 塚山公園開園
- 9月 ● 基本構想策定「みどり豊かな福祉と文化のまち」



昭和56年 杉並清掃工場建設

- 平成元年 3月 ● 公民館閉館
- 5月 ● 郷土博物館開館
- 6月 ● 社会教育センター・高円寺地域区民センター「セシオン杉並」開設
- 7月 ● 北海道風連町（現・名寄市）と交流自治体協定締結
- 8月 ● 群馬県吾妻町（現・東吾妻町）と友好自治体協定締結
- 平成2年 2月 ● 区役所西棟新庁舎、阿佐ヶ谷中学校校舎完成
- 3月 ● 平和都市宣言記念像「ジーンズ」建立
- 5月 ● オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州
ウィロビー市と友好都市協定締結
- 7月 ● 第1回すぎなみふるさとまつり開催
- 平成3年 4月 ● 公民館跡地記念碑「オーロラ」建立
- 6月 ● 荻窪体育館開館
- 12月 ● 大韓民国ソウル特別市瑞草区と友好都市協定締結
- 平成4年 2月 ● 区役所中棟新庁舎・駐車場完成
- 3月 ● 杉並区コミュニケーションマーク制定（10月使用開始）
- 4月 ● (財)杉並区勤労者福祉協会設立
- 7月 ● 完全週休二日制（土曜閉庁）開始
- 平成5年 3月 ● 区役所東棟新庁舎完成
- 4月 ● 重度身体障害者通所施設「こすもす生活園」開設
- 7月 ● 3歳未満乳幼児の医療費助成開始
- 10月 ● (財)杉並区スポーツ振興財団設立



郷土博物館古民家



区役所新庁舎

- 平成12年 4月 ● 改正地方自治法が施行され特別区が「基礎的な地方公共団体」となる
- 清掃事業（収集・運搬）が都から区に移管
- 9月 ● 基本構想（杉並区21世紀ビジョン）策定
- 「区民が創る「みどりの都市」杉並」
- 11月 ● 南北バス「すぎ丸」運行開始
- 平成13年 4月 ● 17出張所を7区民事務所・2分室・荻窪サービスコーナーに再編
- 9月 ● 住民基本台帳に係る個人情報の保護に関する条例制定
- 10月 ● 学校希望制度開始
- 平成14年 3月 ● すぎなみ環境目的税条例（レジ袋税条例）制定（未施行）
- 4月 ● 「めざせ五つ星の区役所」運動開始
- 11月 ● 自治基本条例制定
- 平成15年 3月 ● 杉並区長の在任期間に関する条例（多選自粛条例）制定
- 4月 ● 都内初の民間人校長誕生（和田中学校）
- 8月 ● 安全パトロール隊発足
- 10月 ● 安全美化条例・路上禁煙地区開始
- 平成16年 3月 ● 防犯カメラ設置及び利用に関する条例制定
- 4月 ● 複合施設「あんさんぶる荻窪」開設
- 5月 ● 新潟県小千谷市と災害時相互援助協定締結
- 10月 ● 柏の宮公園開園
- 新潟県中越地震による小千谷市支援を開始
- 11月 ● 福島県北塩原村とまるごと保養地協定締結



すぎ丸



柏の宮公園

平成元年～平成21年 平成

- 平成6年 4月 ● 杉並区リサイクル協会設立
- 7月 ● 日本フィルハーモニー交響楽団と友好提携締結
- 保養施設「すぎなみ自然村」開業
- 8月 ● 杉並ボランティアセンター開設
- 平成7年 4月 ● 本橋保正区長就任
- 10月 ● 北海道風連町（現・名寄市）と防災相互援助協定締結
- 群馬県吾妻町（現・東吾妻市）と防災相互援助協定締結
- 平成8年 4月 ● 井草森公園開園
- 杉並中継所開設
- 平成9年 4月 ● 杉並保健所と5保健センター開設
- こども発達センター開設
- 9月 ● 児童青少年センター・男女平等推進センター「ゆう杉並」開設
- 12月 ● 杉並区男女共同参画都市宣言
- 平成10年 2月 ● 上井草スポーツセンター開設
- 3月 ● 移動図書館「たびびとくん」運行終了
- 10月 ● (財)杉並区障害者雇用支援事業団設立
- 乳幼児医療費助成制度の対象年齢が就学前までに拡大
- 平成11年 4月 ● 山田宏区長就任
- 6月 ● 区内全域で毎週「びん・缶・古紙」の資源回収
- 11月 ● リサイクルひろば高井戸開設



井草森公園

- 平成17年 5月 ● 福島県原町市（現・南相馬市）と災害時相互援助協定締結
- 7月 ● 区独自の教師養成塾「杉並師範館」設立
- 10月 ● 犯罪被害者等支援条例制定
- 平成18年 3月 ● 読書の森公園開園
- 4月 ● 「すぎなみ地域大学」開校
- 6月 ● 杉並公会堂改築
- 9月 ● 区公式アニメキャラクター「なみすけ」を選定
- 平成19年 4月 ● 区が独自に採用した教員を小学校に配置
- 天沼弁天池公園・郷土博物館分館開館
- 6月 ● 杉並子育て応援券事業開始
- 平成20年 4月 ● 区内初の統合新校となる天沼小学校開校
- 区独自の「30人程度学級」実施
- 7月 ● 住基ネットへの参加を決定
- 9月 ● 本庁舎の土日開庁開始
- 平成21年 3月 ● 杉並中継所廃止
- 5月 ● 杉並芸術会館「座・高円寺」開館
- 角川庭園・幻戯山房「すぎなみ詩歌館」開園
- 東京都青梅市と交流に関する協定締結
- 10月 ● 長寿応援ポイント事業開始



天沼弁天池公園



杉並芸術会館「座・高円寺」

- 平成22年 3月 ● 減税基金条例制定
- 7月 ● 田中良区長就任
- 8月 ● 100歳以上高齢者訪問面接調査実施
- 12月 ● 杉並区長の在任期間に関する条例（多選自粛条例）廃止
- 平成23年 3月 ● 東日本大震災による南相馬市への支援開始
- 4月 ● 桃井原っぱ公園開園
- 自治体スクラム支援会議立ち上げ
- 安心おたっしや訪問事業開始
- 8月 ● 東京都青梅市と災害時相互援助協定締結
- 12月 ● 東京都武蔵野市と災害時相互協力協定締結
- 平成24年 2月 ● 福島県北塩原村と災害時相互援助協定締結
- 3月 ● 基本構想（10年ビジョン）策定
- 「支えあい共につくる安全で活力のあるみどりの住宅都市 杉並」
- 減税基金条例の廃止
- 4月 ● 次世代育成基金を設置
- 6月 ● 杉並区産業振興センター開設
- 8月 ● 平和市長会議に加盟
- 山梨県忍野村と災害時相互援助協定締結
- 9月 ● 静岡県南伊豆町と災害時相互援助協定締結
- 平成25年 7月 ● 東京都小笠原村と子ども自然体験交流事業推進宣言を取り交わす
- 12月 ● 台湾政府教育部体育署などと青少年の夢を育む交流事業推進宣言を取り交わす



桃井原っぱ公園



杉並和泉学園

- 平成30年 3月 ● 静岡県南伊豆町との自治体間連携による特別養護老人ホーム「エクレスシア南伊豆」開設
- 「ウェルファーム杉並」複合施設棟開設
- 4月 ● 保育の待機児童ゼロを初めて実現
- 6月 ● 「振り込め詐欺被害0ダイヤル」開設
- 9月 ● 永福体育館の移転改修
- 3施設でネーミングライツ事業開始
- 10月 ● 図柄入り杉並ナンバープレート交付開始
- 平成31年 4月 ● 高円寺子ども家庭支援センター開設
- 令和元年 6月 ● 全区立小・中学校体育館への空調設備の設置開始
- 8月 ● 子育て寄りそい訪問事業「ハロー！なみすけ訪問」開始
- 9月 ● 就学前教育支援センター「すぎっこひろば」開設
- 11月 ● 重度身体障害者通所施設「シャローム上井草さくら」開設



エクレスシア南伊豆



図柄入り杉並ナンバープレート

平成22年～平成31年 平成

令和元年～令和4年 令和

- 平成26年 7月 ● あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等用地の財産交換に関する覚書を国と締結
- 11月 ● ご当地ナンバー（杉並ナンバー）交付開始
- 12月 ● 自治体間連携による特別養護老人ホーム整備に係る基本合意書を静岡県南伊豆町および静岡県と取り交わす
- 平成27年 3月 ● 学校希望制度廃止
- 4月 ● 杉並区初の小中一貫教育校、杉並和泉学園開校
- 生活自立支援窓口「くらしのサポートステーション」開設
- 東京高円寺阿波おどり台湾公演2015開催
- 国立台湾戯曲学院と文化・芸術の相互交流推進宣言を取り交わす
- 10月 ● 重症心身障害児通所施設「わかば」開設
- 平成28年 3月 ● 荻外荘（近衛文麿旧宅）が国の史跡に指定
- 4月 ● 成田西ふれあい農業公園開園
- 12月 ● 子ども子育てプラザ和泉開設
- 平成29年 4月 ● 下高井戸おおぞら公園開園
- 6月 ● 杉並区いじめ問題対策委員会条例制定
- 9月 ● 首都直下地震を想定した地震被害シミュレーションの公開
- 10月 ● 杉並清掃工場全面改築



下高井戸おおぞら公園



杉並清掃工場

- 令和2年 2月 ● 新型コロナウイルス対策本部、杉並区帰国者・接触者電話相談センター設置
- 3月 ● 新型コロナウイルス感染症対策のため、区立学校等の臨時休業、区事業の休止
- 4月 ● 区内基幹4病院における発熱外来の設置支援
- フードシェアリングサービス事業者と食品ロス削減協定を締結
- 9月 ● 中央図書館のリニューアルオープン
- 11月 ● 勤労福祉会館・西荻地区民センターのリニューアルオープン
- 令和3年 1月 ● 新型コロナ専用病床確保のための転院支援事業開始
- 新たな多世代型施設「コミュニティふらっと」開設
- 2月 ● 児童・生徒へ1人1台専用タブレット端末を配備
- 4月 ● 農福連携農園「すぎのこ農園」全面開園
- 7月 ● 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ受け入れ等
- 9月 ● 自宅療養者支援ステーション開設
- 10月 ● 基本構想策定「みどり豊かな 住まいのみやこ」
- 11月 ● ゼロカーボンシティ宣言
- 12月 ● 特別養護老人ホーム「10年1000床整備計画」達成
- 令和4年 3月 ● ウクライナ避難民への支援（相談窓口等）開始
- 4月 ● 阿佐谷地域区民センターの移転オープン
- 7月 ● 岸本聡子区長就任



中央図書館



農福連携農園「すぎのこ農園」